

令和 2年度 柏原市自立支援協議会くらし部会 年間活動実績

	項目	内容
10月 5日	部会	コロナ情勢と活動予定について
1月 20 日	部会	振り返りと次年度活動予定について

- ・12月の障害者週間で啓発ポスターを作製し各駅や商店街に掲示した。
- ・つながる音楽祭や交流会はコロナ感染予防の為中止となった。

Plan (計画)

No	困りごと (事象)		原因 (分析)	どうやったらクリアできるか (仮説)	具体的な取り組み			評価 予定時期	
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって		
1506	地域交流 資源開発 啓発	地域との交流や外出をする機会が少ない。	当事者 支援者	・障害者の生活の様子や障害特性、支援方法などが地域住民に知られていない。	新しい生活様式に適応した方法による啓発活動の実施 ・つながる音楽祭の開催 ・市民向けの啓発活動	くらし部会	2020年度中	つながる音楽祭 啓発活動 ( )	・地域イベントはコロナ感染予防の為未実施。 ・各施設の利用者さんと一緒に障害者啓発週間のポスターを作製し柏原市内の駅等に掲示した。
1801	災害 復発 旧生 時時	災害時の障害者に対する柏原市の対応 (避難所の支援体制、避難できない時の支援、救助や安否確認の体制等) がわからない。	当事者 支援者	柏原市として、障害者の支援について具体化されたものは確立されていないので、まず自助・共助の部分で自分たちで取り組める事を考えて行く。	大阪府のガイドライン等を参考に、勉強会を開催する。災害時の障害者支援についての研修会を開催する。GH見学と世話人交流会を実施し災害時等への協力関係構築や事業の底上げのため、顔の見える関係を作る。	くらし部会 協議会事務局 障害福祉課	2020年度中	資料を集め、具体的な課題について検討していく。大阪北部地震被災地の事業所や、自立支援協議会、ゆめ風基金など具体的な支援についての知見があるところから話を聞く。	・コロナ感染予防の為未実施
1802	災害 発生 時	グループホーム、入所施設では夜間の職員が少なく緊急時の対応が困難	当事者 支援者						・コロナ感染予防の為未実施

Check (確認・評価) 2020年度評価 2020.

	課題	実行してどうだったか (検証)	クリア (終了) / 持ち越し	理由 (持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載)
1506	地域との交流や外出をする機会が少ない。	コロナ感染予防の為、音楽祭は中止。世話人交流会も中止。 12月の障害者週間に各ホームで啓発ポスターを作成し、柏原市内の駅や商店街に掲示した。	持ち越し。 ホームを対象に困りごとのアンケートを実施する。 課題発生当初は外出の機会が少なかったが、現状はガイドヘルパー等の利用も多くなっているため、交流のみを課題として継続する。	ホームで求められている困りごとに対して、地域住民の協力を得られるように地域展開をする。
1801	災害時の障害者に対する柏原市の対応(避難所の支援体制、避難できない時の支援、救助や安否確認の体制等)がわからない。	部会で取り組めることを再検討した。ハード面での整備を部会でするのは困難なので、勉強会を企画することとした。	持ち越し。 ホームに特化した災害研修を企画する。	新しいホームが増えているので、研修の案内をする。
1802	グループホーム、入所施設では夜間の職員が少なく緊急時の対応が困難	長年持ち越してきた課題であるが、ホームとしての課題要素が大きく、部会で取り組むには難しい為終了とする。	終了	